Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

充電式クリーナ

モデル CL142FD
モデル CL182FD

もくじ

このたびは**充電式クリーナ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

モデル／主要機能	CL142FD	CL182FD
電動機	直流マグネットモータ	
バッテリ	リチウムイオンバッテリ BL1430（容量 3.0Ah）	リチウムイオンバッテリ BL1830（容量 3.0Ah）
電圧	直流 14.4V	直流 18V
連続使用時間	HIGH（強）：約 20 分 LOW（標準）：約 40 分	HIGH（強）：約 20 分 LOW（標準）：約 40 分
集じん容量	0.5L（ダストバッグ）、0.33L（紙パック）	
本機寸法	長さ 463mm ×幅 115mm ×高さ 151mm （ストレートパイプ及びノズル 取り付け時の長さ 986mm）	長さ 481mm ×幅 115mm ×高さ 151mm （ストレートパイプ及びノズル 取り付け時の長さ 1004mm）
質量	1.4kg （バッテリ BL1430 付、ノズル、 ストレートパイプなし）	1.5kg （バッテリ BL1830 付、ノズル、 ストレートパイプなし）

充電器	DC18RA
入力電圧	単相交流 100V
入力周波数	50-60Hz
入力容量	430VA
出力電圧	直流 7.2-18V
出力電流	直流 9A

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

JPA002-31

・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警告

安全作業のために：
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. マキタ専用の指定のバッテリ（電池）以外を使わないでください。
・ 改造したバッテリ（電池）(分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリ（電池）を含む）を使用しないでください。工具本体の性能や安全性等も損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。
2. バッテリ（電池）は、火への投入、加熱をしないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
3. バッテリ（電池）に釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. バッテリ（電池）の端子部を金属などで接触させないでください。
・ バッテリ（電池）を金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリ（電池）にバッテリ（電池）カバーを必ず取り付けてください。
5. バッテリ（電池）を火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
・ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。
6. バッテリ（電池）は専用充電器以外では充電しないでください。
・ バッテリ（電池）の液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
7. 正しく充電してください。
・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
・ 周囲温度が１０℃未満、または周囲温度が４０℃以上ではバッテリ（電池）を充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
・ バッテリ（電池）は、換気の良い場所で充電してください。バッテリ（電池）や充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
8. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
・ 感電の恐れがあります。

⚠警告

9. 作業場の周囲状況も考慮してください。

・ 充電工具、充電器、バッテリ（電池）は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
・ 可燃性の液体やガスのある所で使用、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。

10. 保護めがねを使用してください。

・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11. 防音用保護具を着用してください。

・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

12. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

・ 材料を固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

13. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリ（電池）を本機から抜いてください。

・ 使用しない、または修理する場合。
・ 刃物（刈刃）、ビットなどの付属品を交換する場合。
・ その他危険が予想される場合。

14. 不意な始動は避けてください。

・ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・ バッテリ（電池）をさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

15. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

・ この取扱説明書、および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

16. バッテリ（電池）の液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

17. 使用時間が極端に短くなったバッテリ（電池）は使用しないでください。

18. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリ（電池）は使用しないでください。

19. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

・ 爆発や火災の恐れがあります。

20. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。

・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では充電しないでください。
・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物を差し込まないでください。
・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

21. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。

22. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

⚠注意

1. **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. **子供を近付けないでください。**
- 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近付けないでください。

3. **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
- バッテリ（電池）を、周囲温度が５０℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。バッテリ（電池）劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

4. **無理して使用しないでください。**
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- モータがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. **作業に合った充電工具を使用してください。**
- 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

6. **きちんとした服装で作業してください。**
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. **充電工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物（刈刃）類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

⚠注意

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。
・ コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
・ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

10. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・ 疲れている場合は、使用しないでください。

13. 損傷した部品がないか点検してください。

・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ スイッチで始動、および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。

14. 充電工具の修理は、専門店にお申し付けください。

・ 本体、充電器、バッテリ（電池）を分解、修理、改造は行なわないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
・ 本体が熱くなったり、異常に気付いた時は点検・修理に出してください。
・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

15. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

充電式クリーナ安全上のご注意

先に充電式製品として共通の注意事項を述べましたが、充電式クリーナとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

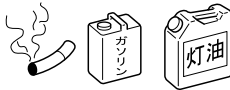
<table>
<tr><th colspan="2">⚠警告</th></tr>
<tr>
<td>・灯油、ガソリン、たばこの吸いがらなどを吸わせない。

・火災の原因になります。

</td>
<td>・水洗いや風呂場での使用は絶対しない。

・感電する場合があります。
</td>
</tr>
<tr>
<td>・絶対に分解したり修理・改造しない。

・発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
</td>
<td>・お手入れ・点検の際は、充電器をコンセントから抜く。また、雨中で充電したり、濡れた手で抜き差ししない。

・感電やけがをすることがあります。</td>
</tr>
</table>

⚠警告

- **電池は発熱、発火、破裂の恐れがあります。次のようなことをしない。**

- 端子に金属類を接触させないでください。
- 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
- 雨や水に濡らさないでください。
- 分解、改造はしないでください。
- 温度が 10 ℃未満、あるいは温度が 40 ℃以上では充電しないでください。
- 換気のよい場所で充電してください。
- 電池や充電器を充電中に布などで覆わないでください。
- 火中に投入しないでください。
- 使用時間が極端に短くなったときは使用をおやめください。
- 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。

- **バッテリの液が目に入ったら、すぐにきれいな水で洗った後、医師の治療を受ける。**

- 失明の恐れがあります。

- **以下のものは吸わせないでください。**
- **セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じんや、コンクリート粉などの微粉じん。**
- **引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など)、爆発性物質（ニトログリセリンなど)、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど)**
- **金属の切断作業及び研削作業中に発生する研削火花や金属粉など。**
- **木片、金属、石及び釘、ガラス、カミソリ、押しピンなどの鋭利な物。**

- 火災やけがや故障の原因となります。

- **本機の吸込口や排出口には手を入れないようにしてください。**

- けがの原因になります。

- **水・湿ったゴミ等は吸い込まないでください。**
  - モータの故障の原因となります。

⚠警告

・ 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

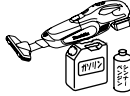
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

・ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

・ 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで充電したり、使用しない。

・ 爆発や火災の原因になります。

・ 火気に近づけない。

・ 本体の変形によるショート、発火の原因になります。

・ 排気口をふさがない。

・ 火災の原因になります。

・ 吸引口をふさいで長時間運転しない。

・ 過熱による本体の変形、発火の原因になります。

・ 充電器のコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

・ 感電、ショート、発火の原因になります。

・ 温度が 50 ℃を超える可能性のある場所（炎天下の車内、火気や暖房器のそば）に保管しない。

・ 本体の変形による、ショート、発火の原因になります。

・ 充電しないときは、充電器をコンセントから抜く。

・ 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

・ 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。

・ 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。

・ 高所で使用する時は、本体を落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルや延長管を持たないで必ず本体のハンドルを持って運ぶ。

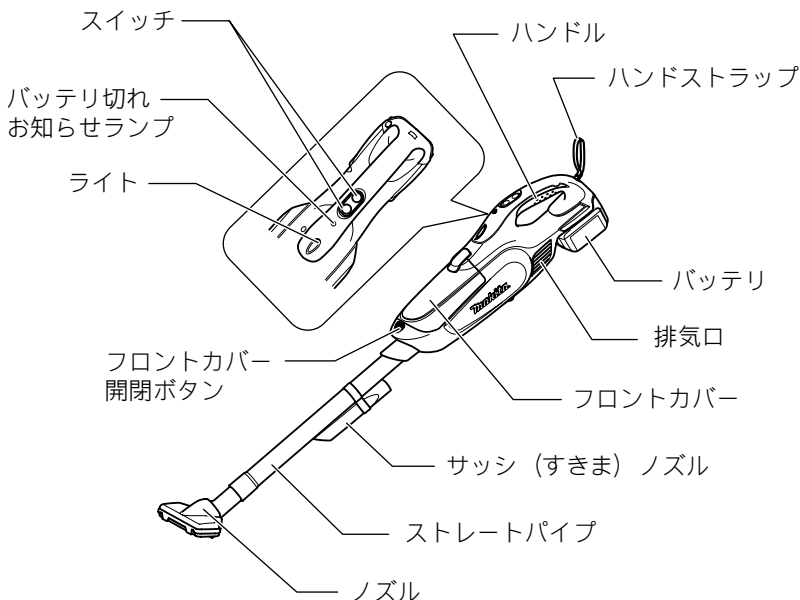
・ 本体などを落としたときなど、事故やけがの原因になります。

注

・ 電源が離れていて延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
0.75mm^2	20m
1.25mm^2	30m

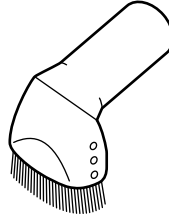
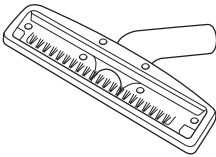
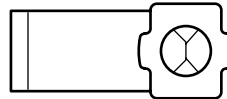
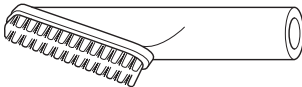
各部の名称および標準付属品

製品の組み合わせ及び標準付属品

標準付属品 ＼ モデル	CL142FDZW	CL182FDZW	CL142FDRFW	CL182FDRFW
バッテリ（容量）	×		○ バッテリ BL1430 (3.0Ah)	○ バッテリ BL1830 (3.0Ah)
充電器（充電時間）	×		○ DC18RA (約 22 分)	
ノズル	○		○	
ストレートパイプ	○		○	
サッシ（すきま） ノズル	○		○	
サッシノズルホルダ	○		○	
ダストバッグ (本機取り付け)	○		○	
紙パック（10 枚）	○		○	
バッテリカバー	×		○	

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

・ フレキシブルホース
部品番号：A-37568

・ ラウンドブラシ
部品番号：A-37471

・ じゅうたん用ノズル
部品番号：A-37546

・ 紙パック（10 枚入）
部品番号：A-48511

・ 棚ブラシ
部品番号：A-37552

・ バッテリ BL1430
部品番号：A-42634

・ バッテリ BL1415
部品番号：A-48527

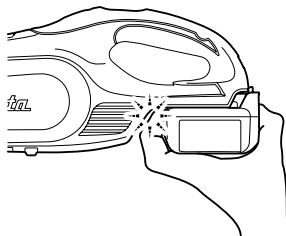
・ バッテリ BL1830
部品番号：A-47896

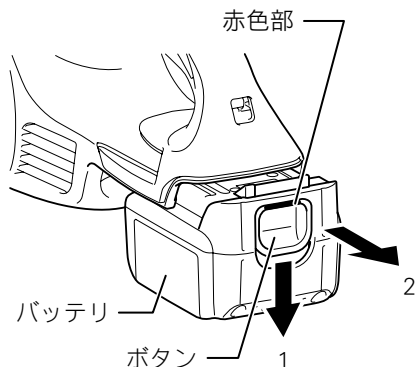
・ バッテリ BL1815
部品番号：A-50734

使い方

バッテリの取り付け・取りはずし方

⚠注意

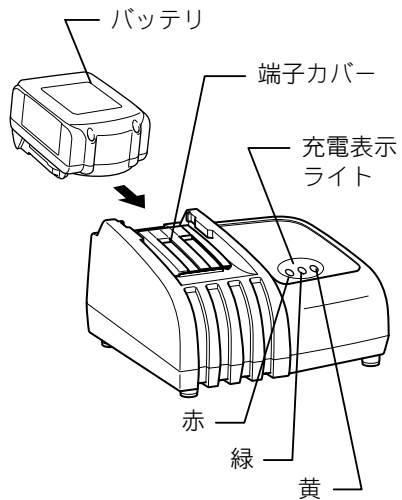
バッテリを取り付ける際は、本機とバッテリの間で指をはさまないようにしてください。
・ けがの原因になります。

・ バッテリを本機から取りはずす時は、1 バッテリ正面のボタンを下げながら 2 スライドさせると取りはずせます。
・ 取り付ける時は本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。

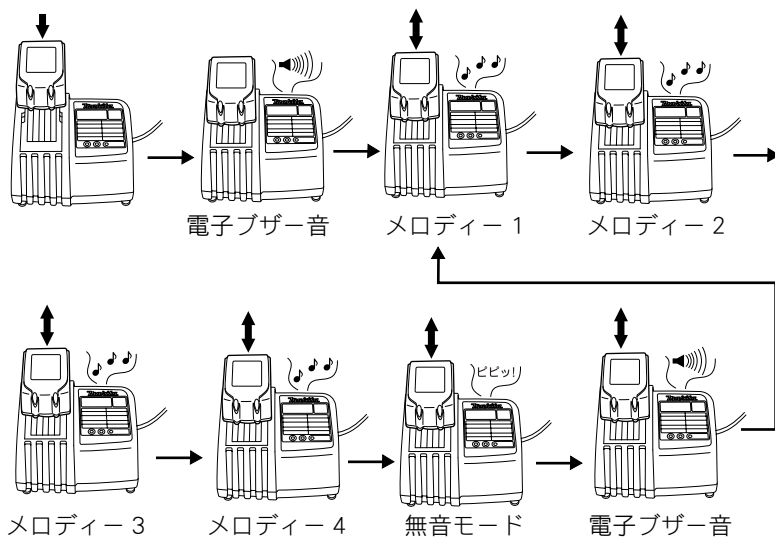
バッテリ保護機能

バッテリ寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能がついています。本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますがこれはバッテリの保護機能によるものであり故障ではありません。
・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
  このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。再度スイッチを操作すれば再びご使用になれます。
・ バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。パワーが落ちてきたと感じたら本機よりバッテリを取り外し、バッテリを充電してください。

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていません。(スイッチを操作すると本機は動くおそれがありますので注意してください。) ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリの充電方法

1. 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでください。
   充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
   充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。
3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーが短時間流れ、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。
   充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
4. バッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリを充電器に差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーが短時間流れます。(※)
2. この時、約 5 秒以内にバッテリを差し直すと充電完了メロディーが変わります。
3. 続けて約 5 秒以内にバッテリを差し直すたびに充電完了メロディーが順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーが流れましたら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。
   「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません(無音モード)。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。

(※) 出荷時は電子ブザーに設定されています。

使い方

充電表示ライトについて

ライト表示	表示内容
○ 緑（点滅） ○	充電前「緑１個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
赤（点滅） ○ ○	冷却中「赤１個」点滅 バッテリが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
赤 ○ ○ 赤 緑 ○	充電中「赤１個」点灯 バッテリ容量約0～80％を示します。 充電中「赤１個・緑１個」点灯 バッテリ容量約80～100％を示します。
○ 緑 ○	充電完了「緑１個」点灯　電子ブザーまたはメロディー 充電完了後もバッテリを冷却します。
赤（点滅） 緑（点滅） ○	充電不可「赤・緑１個」交互点滅 電子ブザー バッテリ寿命またはゴミづまりで充電できません。
○ ○ 黄	オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリ寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
○ ○ 黄（点滅）	冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

注

・ DC18RA はマキタバッテリ専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
・ 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。
このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。
・ 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリの寿命またはゴミ詰まりで充電できません。
・ バッテリを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
・ オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態に応じて変動します。
・ 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却も行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。
・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
×充電器の電源プラグを 100Ｖ の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
×バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
×充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、１時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない）。

冷却システムについて

・ バッテリの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります。このような時は、充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
・ 充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、お買い上げの販売店または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

オートメンテナンス機能について

・ オートメンテナンス機能は、バッテリの使用状態に応じて自動的にバッテリを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
・ 下記１～４の状態となった場合、特にバッテリ寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
 1 高温充電の繰り返し
 2 低温充電の繰り返し
 3 満充電バッテリの再充電の繰り返し
 4 過放電の繰り返し
  （過放電とは吸い込みの力が弱くなってもさらに使用する状態です）

バッテリを長持ちさせるには

・ 吸い込みが弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 使用直後などの熱くなったバッテリは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。

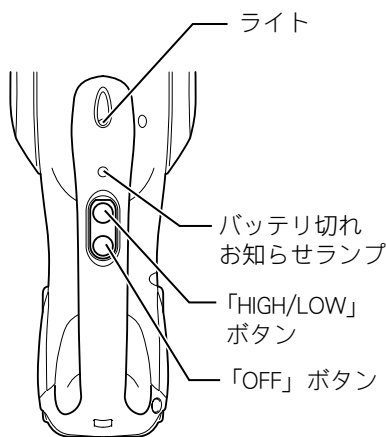
リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管について

・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 × 温度や湿度の急変する所
 × 湿気の多い所
 × 直射日光の当たる所
 × 揮発性物質の置いてある所

使い方

スイッチの操作

・「HIGH/LOW」ボタンを押すと、本機がHIGH（強）モードから作動します。再度「HIGH/LOW」ボタンを押すと、LOW（標準）モードで作動します。もう一度押すとHIGH（強）モードで作動します。停止させるには「OFF」ボタンを押してください。

ライトの点灯

⚠ 注意
ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。
・　ライトの光が連続して目に当たると目をいためる原因になります。

・「HIGH/LOW」ボタンを押すと点灯し、「OFF」ボタンを押すと消灯します。

バッテリ切れお知らせランプ

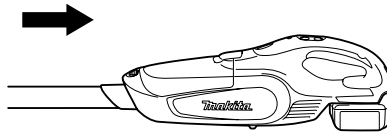
・　使用中にバッテリの容量が少なくなるとバッテリ切れお知らせランプが点滅します。
・　さらにバッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止し、バッテリ切れお知らせランプが約10秒点灯します。このときはバッテリを充電器で充電してください。

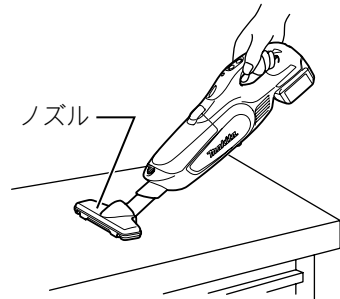
注

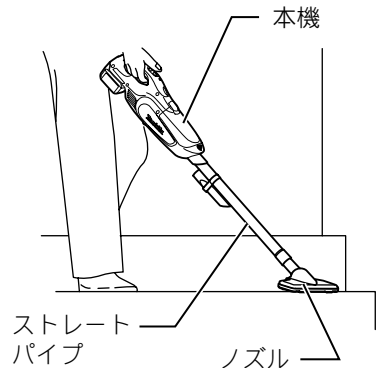
・**バッテリ切れお知らせランプの点灯、点滅のタイミングは、周囲の湿度やバッテリの状態によって変化します。**

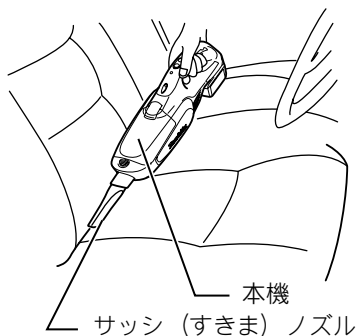
標準付属品の使い方

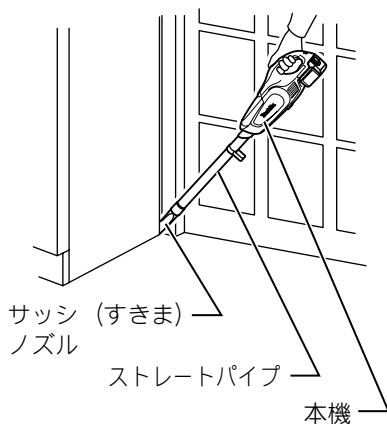
⚠注意

ノズル等の標準付属品は使用中に抜けないように、ねじりながらしっかりと差し込んで取り付けてください。

ノズル

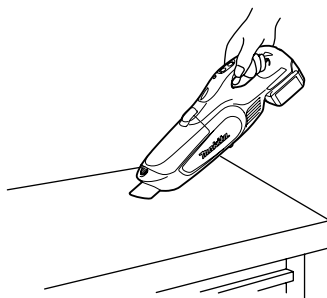
・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、ノズルを本機に直接差し込んで、ご使用ください。

ノズル＋ストレートパイプ

・ たたみ・じゅうたん・床など低い所を掃除されるときは、本機とノズルの間にストレートパイプを差し込めば立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。

サッシ（すきま）ノズル

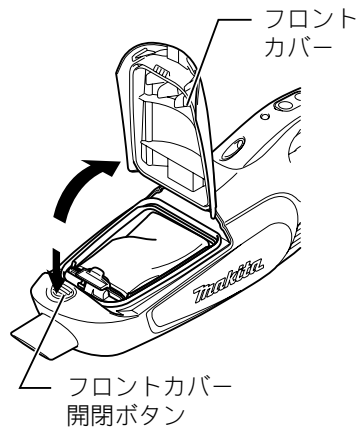
・ 自動車の中や家具のすきまおよびサッシの溝などを掃除されるときは、サッシ（すきま）ノズルを本機に直接差し込んで、ご使用ください。

サッシ（すきま）ノズル＋ストレートパイプ

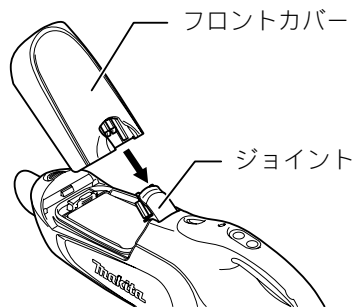
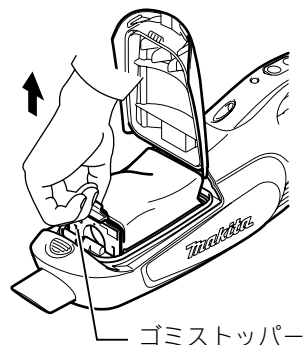
・ 家具の奥など本機があたって入らないときや高い所のすき間などを掃除されるときは、サッシ（すきま）ノズルと本機の間にストレートパイプを差し込んで、ご使用ください。

ちょっとした掃除に

・ こぼした粉などの吸い込みは直接本機で出来ます。

注

・ ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。

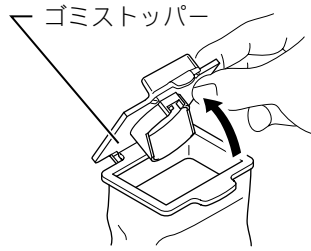
ゴミの捨て方

1. フロントカバー開閉ボタンを押し、フロントカバーを開けます。
“カチッ”と音がするまで開けるとその状態で固定できます。

注

- **フロントカバーを開ける際、力をかけて90°以上開けようとすると、破損防止のため本機からフロントカバーがはずれる構造になっています。はずれた場合は図のようにジョイントにフロントカバーを差し込んでください。**
- **フロントカバーを閉めるときには指をはさまないように注意してください。**

2. オレンジ色のゴミストッパーとダストバッグをいっしょに引き抜きます。

3. ゴミストッパーを取りはずしてから
   ゴミを捨てます。

注

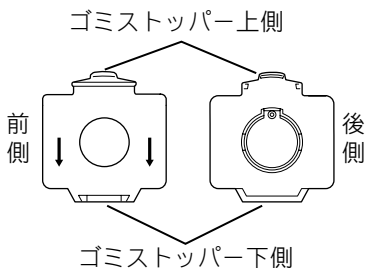
- ゴミストッパーを誤って捨てないでください。

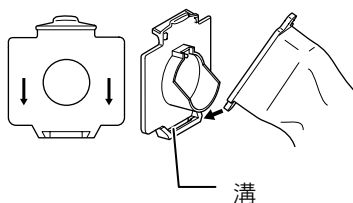
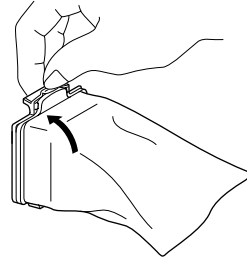
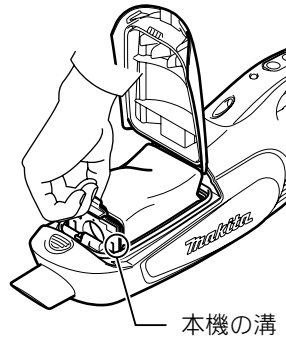
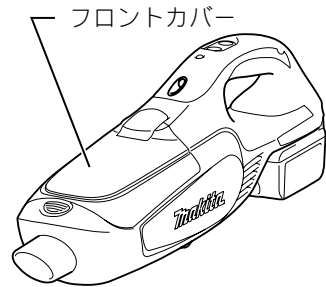
注

- ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。
- 本機ケース内のゴミは必ず捨ててください。本機内部のスポンジフィルタの目詰まりや、モータ故障の原因になります。
- ゴミストッパーはダストバッグもしくは紙パックのどちらを取り付ける際にも使用しますので、捨てないでください。

ダストバッグと紙パックについて

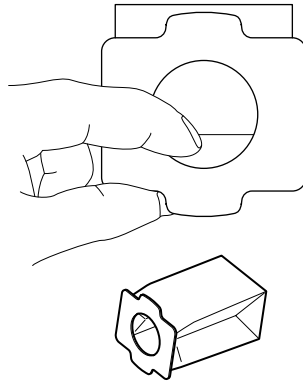
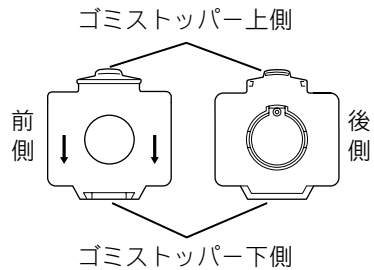
- ご使用の際には、ダストバッグまたは紙パックのどちらかを取り付けます。
- ゴミストッパーはダストバッグまたは紙パックのどちらを取り付ける場合も使用します。
- ダストバッグは洗浄して繰り返し使用できます。(30 ページ参照)
- 紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。

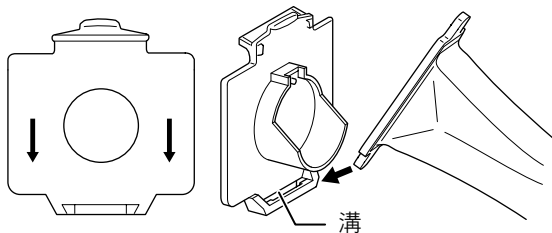
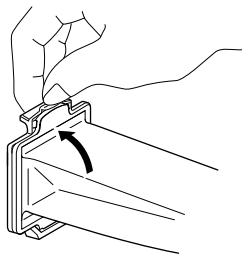
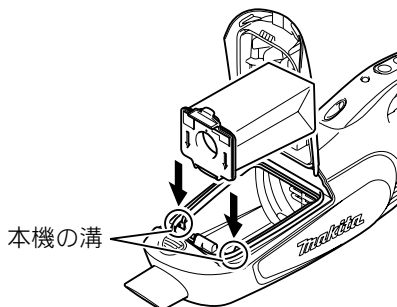
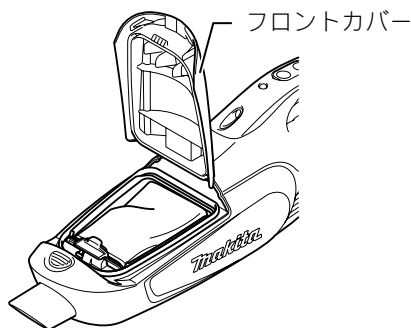
ダストバッグの取り付け方

- ダストバッグの取り付けにはゴミストッパーを使用します。上下方向の区別があるのでお気を付けください。

1. 図のようにゴミストッパー下側の溝にダストバッグ凸部を差し込みます。

2. ダストバッグには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。

3. ゴミストッパーとダストバッグの枠を重ね合わせます。

4. ゴミストッパーの矢印に合わせてゴミストッパーとダストバッグをいっしょに本機の溝に奥までしっかり差し込みます。

5. ダストバッグの布側を本機ケースに入れます。

6. フロントカバーをしっかり閉めます。

紙パックの取り付け方

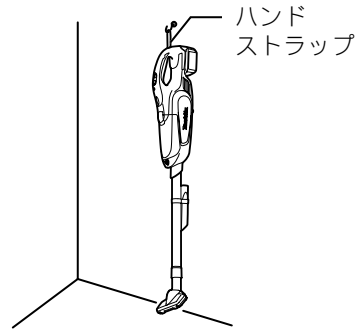
1. 紙パックをご使用の際は、ゴミストッパーにセットする前に紙パックの入り口を広げてください。

・ 紙パックの取り付けにもゴミストッパーを使用します。上下方向の区別があるのでお気を付けください。

2. 図のようにゴミストッパー下側の溝に紙パック凸部を差し込みます。

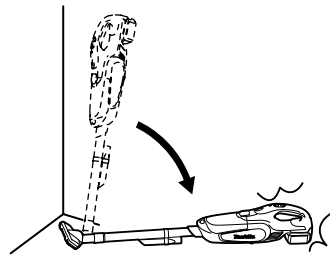
3. 紙パックには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。

4. ゴミストッパーと紙パックの枠を重ね合わせます。

5. ゴミストッパーの矢印に合わせてゴミストッパーと紙パックをいっしょに本機の溝に奥までしっかり差し込みます。

6. 紙パックの袋側を本機ケースに入れます。
・ 紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。

7. フロントカバーをしっかり閉めます。

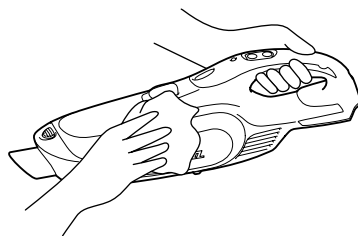
注

・ ダストバッグ、紙パックのどちらかを取り付けてご使用ください。
・ ダストバッグや紙パックを入れ忘れたり、奥までしっかり差し込まれていなかったり、破れたダストバッグや紙パックを使いますとモーター故障の原因になります。
・ クリーナの紙パックは、本体性能を維持するための大切な機能部品です。そのため、純正以外の紙パックを使用した場合はモータが発煙、発火するおそれがあります。
・ 紙パック取り付け時は、口元の厚紙を曲げないように取り付けてください。
・ **ゴミストッパーは捨てないで繰り返しご使用ください。**

ハンドストラップ

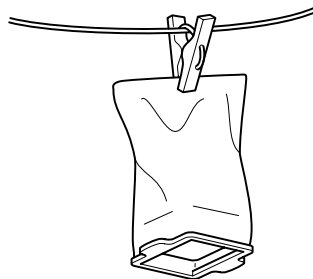
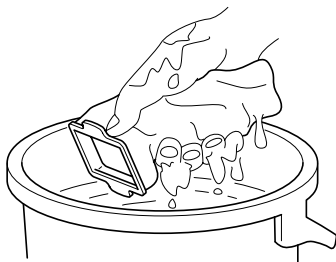
・ 保管するときは、ハンドストラップで市販の吊り金具などに引っ掛けておくと便利です。

注

・ 何も固定せず立て掛けると転倒して故障の原因となります。

お手入れは

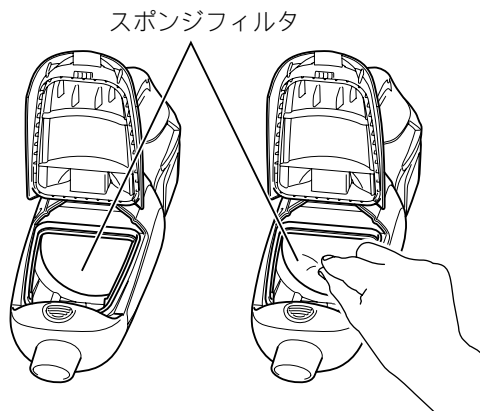
・ 本機の汚れは、布に石けん水を少量しみ込ませてふきとってください。
・ 吸い込み口、ダストバッグ収納部、ゴミストッパーに付いたゴミもふきとってください。

注

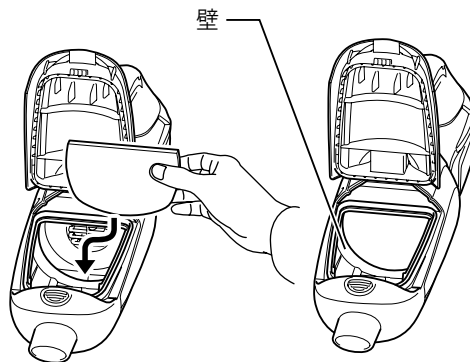
・ **ガソリン、ベンジン、シンナー等は、変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

・ ダストバッグが汚れて吸込力が低下したときは、ダストバッグを石けん水でもみ洗いし、十分に乾燥させてからご使用ください。

※紙パックは使い捨てです。

・ スポンジフィルタの汚れは、本機からスポンジフィルタを抜き取り、はたくか水洗いしてください。

スポンジフィルタの取りはずし方

・ ダストバッグを取りはずし、ダストバッグ収納部の奥に見えるスポンジフィルタをつまんで抜き出します。

スポンジフィルタの取り付け方

・ ダストバッグ収納部奥の壁の内側にスポンジフィルタの端を全周押し込みます。

注

・ スポンジフィルタのお手入れをした後は、必ず本機にスポンジフィルタを装着してください。また、水洗いをした場合には、十分に乾燥させてから装着してください。モータ故障の原因になります。

修理について

修理を依頼される前に

症状	調べるところ	直しかた
吸込力が弱い	・ダストバッグまたは紙パックのゴミが一杯になっていませんか。 ・ダストバッグが目詰まりしていませんか。 ・紙パックが目詰まりしていませんか。 ・バッテリが消耗していませんか。	・ゴミを捨ててください。 ・ダストバッグをはたくか、水洗いしてください。 ・紙パックを交換してください。 ・充電してください。
動かない	・バッテリが消耗していませんか。	・充電してください。

注

- **上表にしたがってお調べいただいても直らないときはバッテリが寿命の可能性があります。その場合さらに充電されますと充電器も故障する場合がありますので、修理をお申し付けください。**

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げ販売店または当社営業所にお申し付けください。
- 修理を依頼される場合は、**クリーナ本機の他に充電器も一緒に**お持ちください。
- 保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間が過ぎているときは、販売店または当社営業所にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。